

由良町人口ビジョン

和歌山県由良町

令和7年12月

目次

I	由良町人口ビジョン全体構成	1
1.	由良町人口ビジョンの位置づけ	1
2.	由良町人口ビジョンの対象期間	1
3.	人口の現状分析と将来展望	1
4.	国・和歌山県の長期ビジョンについて	2
II	由良町の人口の現状と変遷	6
1.	由良町の人口の現状（令和7（2025）年3月31日時点住民基本台帳）	6
(1)	3区分人口及び全人口	6
(2)	人口ピラミッド	6
(3)	行政区ごとの人口の現状	7
2.	由良町の人口の推移	8
(1)	住民基本台帳における近年の人口の変遷（各年3月31日時点住民基本台帳）	8
(2)	国勢調査における長期的な人口の変遷	11
III	由良町の人口の分析	12
1.	由良町の人口動向分析	12
(1)	移動に関する状況と分析（住民基本台帳人口移動報告）	12
(2)	出生に関する状況と分析	14
(3)	配偶者に関する状況と分析（男女別未婚率の推移）	15
(4)	就労等に関する状況と分析	16
IV	由良町の将来人口	19
1.	社人研推計準拠	19
2.	独自シミュレーション	20
(1)	シミュレーション1	21
(2)	シミュレーション2	21
(3)	シミュレーション3	22
3.	社人研推計準拠と独自シミュレーションの比較	22
4.	人口の将来展望	23
(1)	これまでの由良町の人口の推移	23
(2)	今後の由良町の人口の推移	23
(3)	今後の由良町の取組	23

I 由良町人口ビジョン全体構成

1. 由良町人口ビジョンの位置づけ

由良町人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び和歌山県の「長期人口ビジョン」の趣旨・内容を踏まえ、由良町における人口の現状分析を行い、今後目指すべき将来の方向及び展望を示すものであり、第3期由良町総合戦略の成果を測る重要な指標となります。

2. 由良町人口ビジョンの対象期間

由良町人口ビジョンの対象期間は、対象期間を令和 42（2060）年までとした前回策定時から 10 年経過していること、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の人口推計が令和 52（2070）年まで出されていることを考慮し、令和 52（2070）年までとします。また基礎数値として、社人研の人口推計等を用います。

3. 人口の現状分析と将来展望

由良町人口ビジョンの策定に当たっては、まず、由良町の総人口や年齢構成がどのように変化してきたのかを町全体及び行政区ごとに分析します。また、人口増減の内訳（社会増減・自然増減）や未婚率、就労等の状況、各種産業に従事する人口や事業者数等、多様な視点から由良町の人口動態を分析します。

それらの分析を基に、施策の及ぼす効果も考慮しながら、様々な仮定の下での将来人口推計を行い比較することで、人口に関する由良町の今後の課題を把握します。そして、今後予想される人口の変化が、由良町の将来にどのような影響を及ぼすかを分析・考察します。

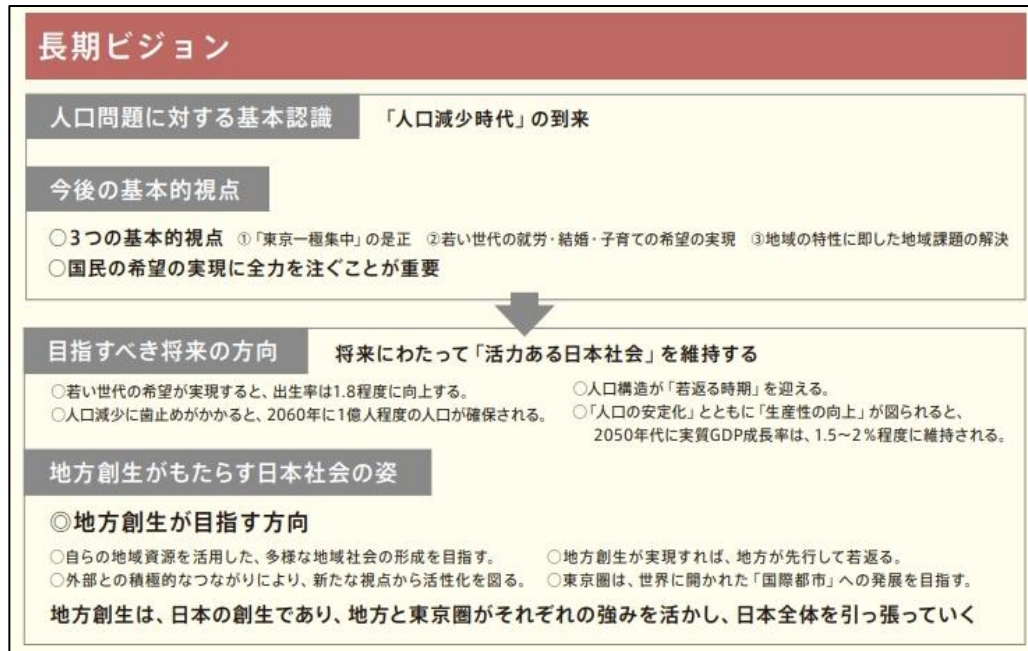
なお、人口の将来展望を行う際には、出生及び移動に関する仮定を設定する必要があります。人口移動の状況は地域によって多様であり、移住のほか、地元就職率の動向や進路希望状況など多面的な調査・分析を検討する必要があると考えられます。このように、地域の実情に応じた調査・分析を行い、人口の将来展望を見通します。

4. 国・和歌山県の長期ビジョンについて

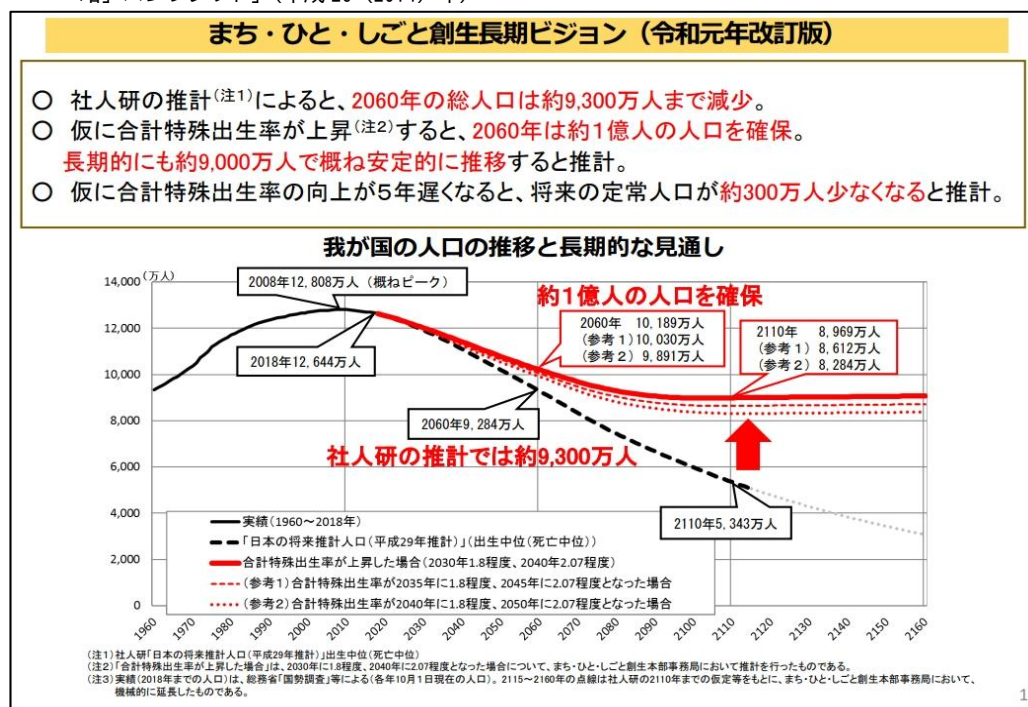
【国の長期ビジョン】

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」では、合計特殊出生率を段階的に上昇させ令和42（2060）年に人口1億人を確保することを目指すべき将来の方向としています。

合計特殊出生率の段階的な目標値としては、「国民希望出生率」である1.8と、「人口を維持できる水準」である2.07が採用されています。



出典：内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局「まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」パンフレット」（平成26（2014）年）



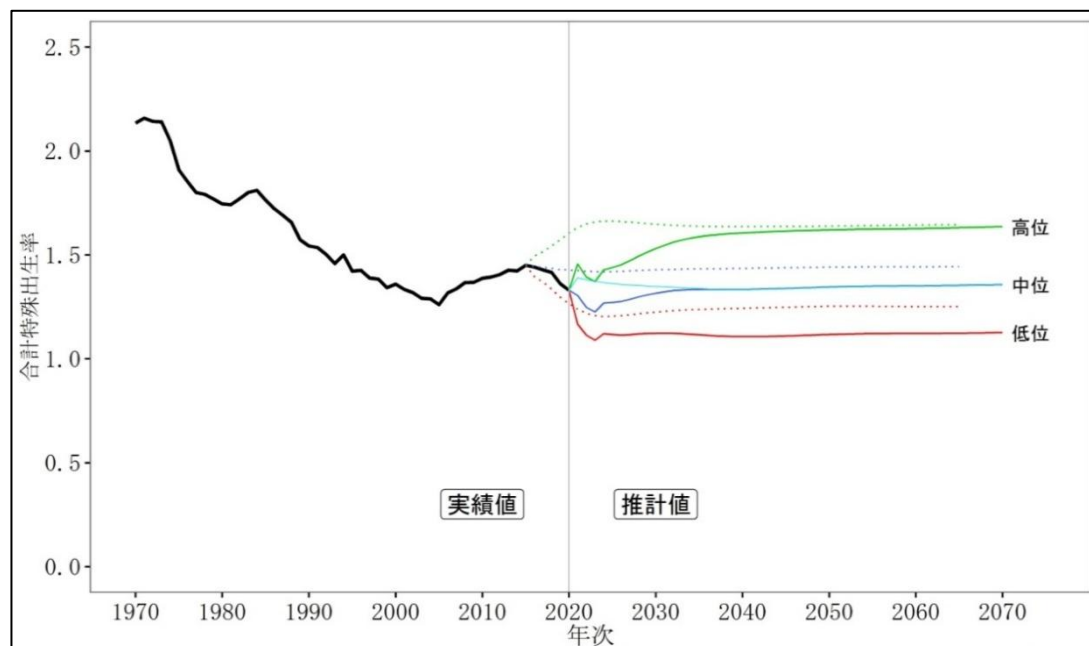
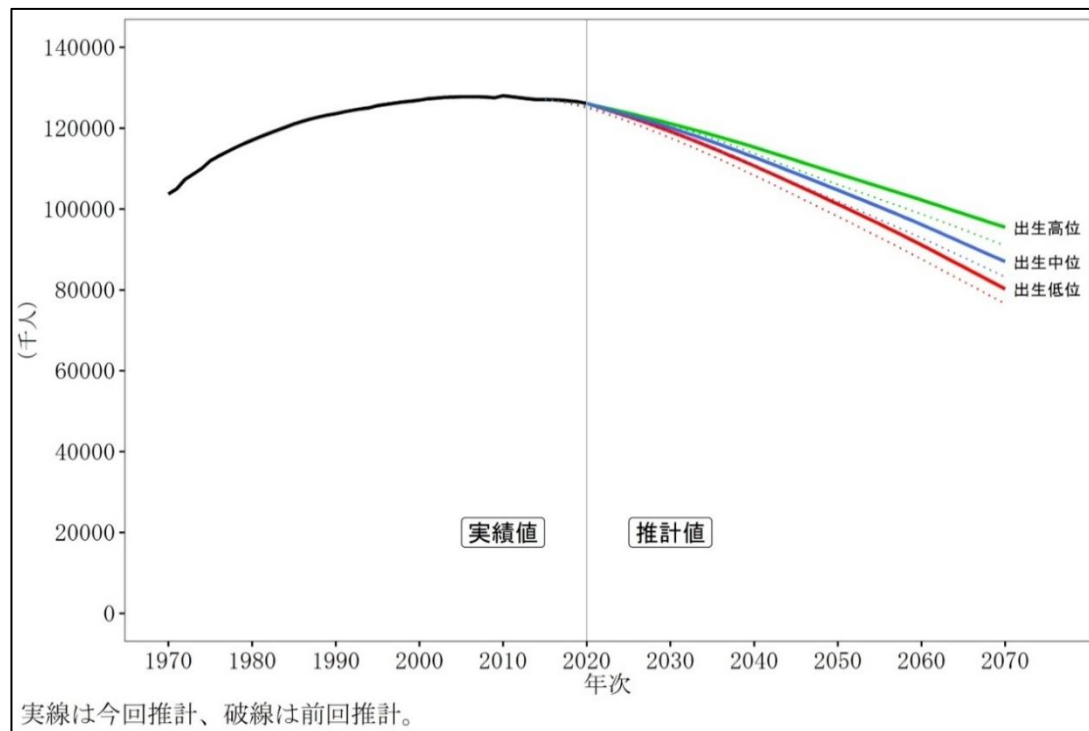
出典：内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（概要）」（令和元（2019）年）

【我が国の人口の推移と長期的な見通し】

社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5（2023）年推計」（出生中位（死亡中位））によると、令和52（2070）年の総人口は約8,700万人まで減少すると推計されています。平均寿命の延伸や、外国人の入国超過増により、前回推計よりも人口減少の進行がわずかに緩和しています。

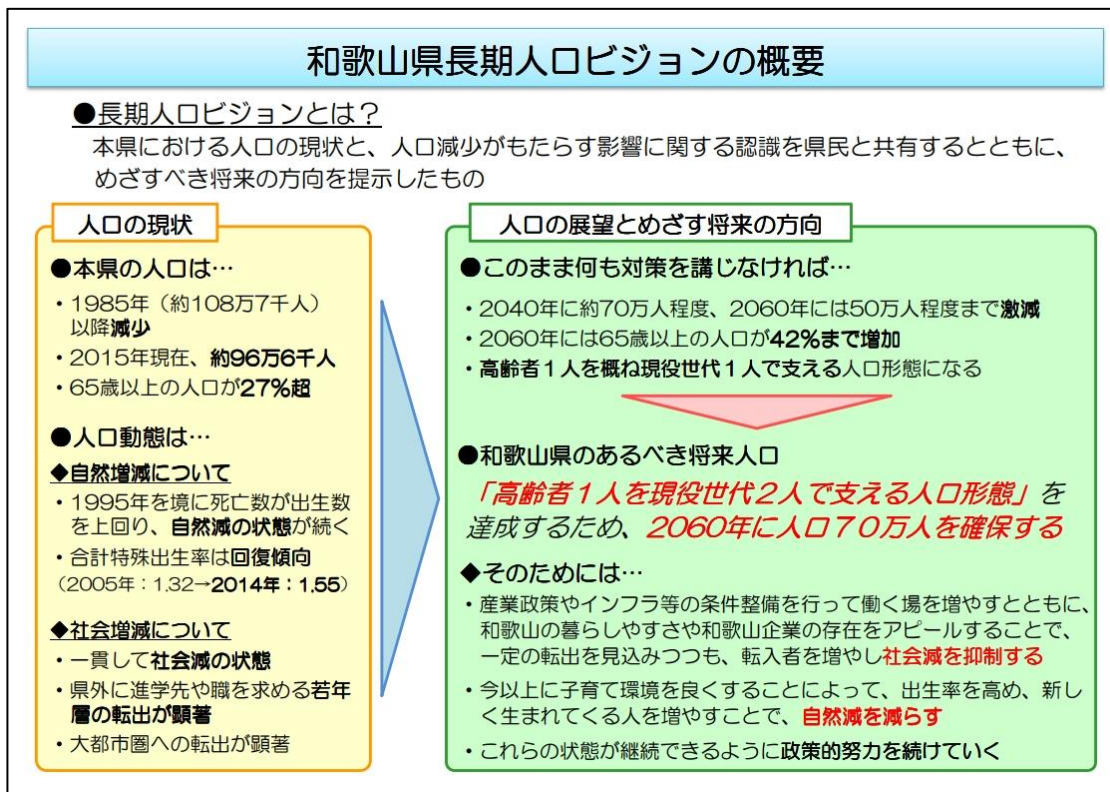
なお、その推計で扱われている合計特殊出生率の仮定値は、令和52（2070）年時点で1.36となる推計となっています。

上のグラフでは、合計特殊出生率の3つの仮定値（低位～高位）に応じた、総人口の推計結果を示しています。下のグラフでは、合計特殊出生率の3つの仮定値（低位～高位）を示しています。

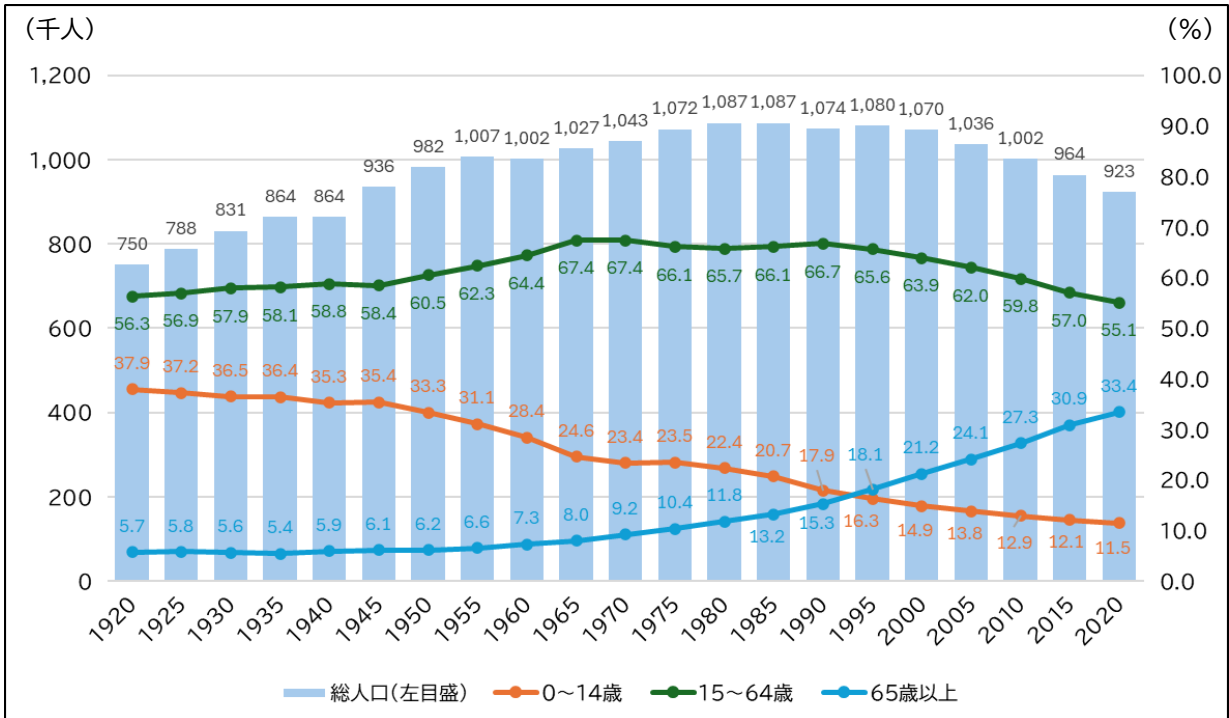


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5（2023）年推計」（令和5（2023）年）

【和歌山県の長期人口ビジョン】

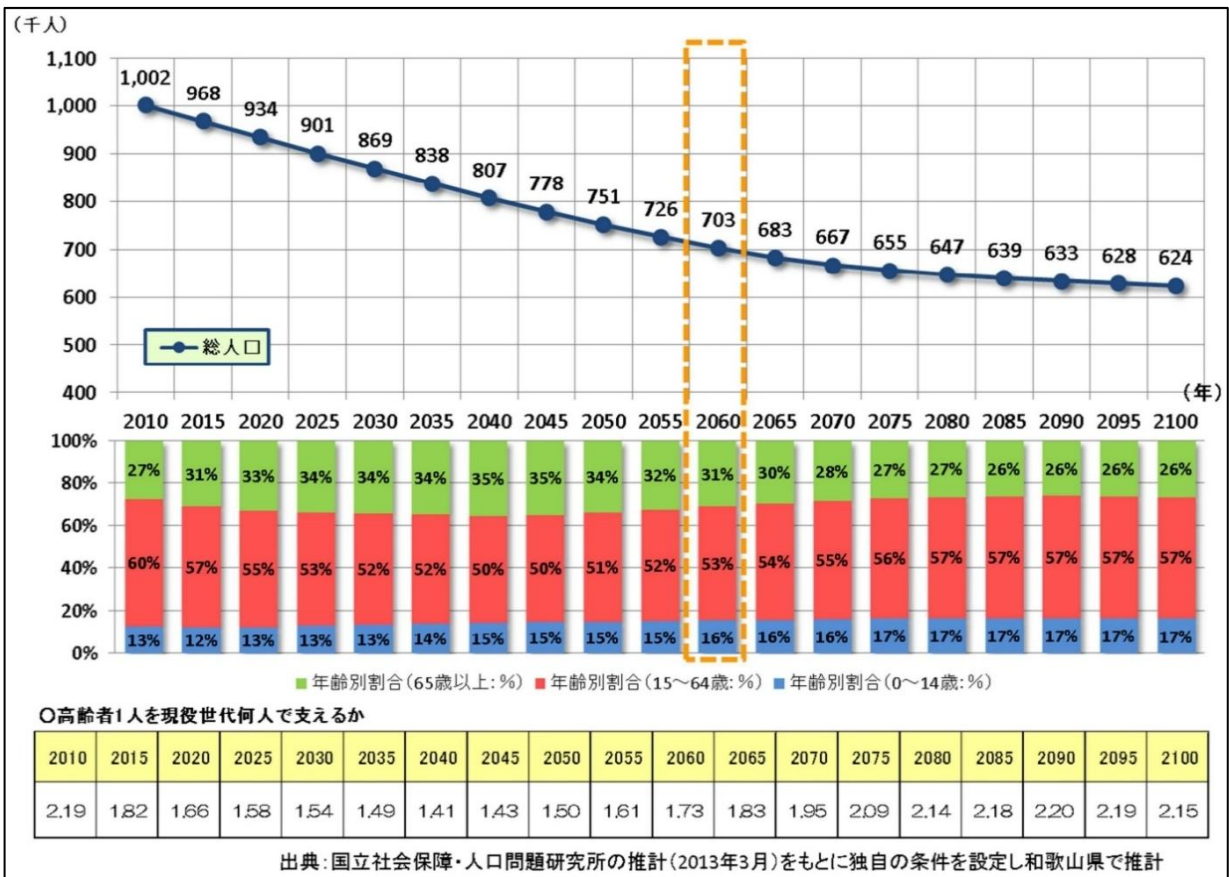


【和歌山県総人口の推移】



出典：総務省「国勢調査」(大正9(1920)年~令和2(2020)年)を基に作成

【将来人口推計 (和歌山県長期人口ビジョン)】



出典：国立社会保障・人口問題研究所の推計(2013年3月)をもとに独自の条件を設定し和歌山県で推計

出典：和歌山県「長期人口ビジョン」(平成27(2015)年)

Ⅱ 由良町の人口の現状と変遷

1. 由良町の人口の現状（令和7（2025）年3月31日時点住民基本台帳）

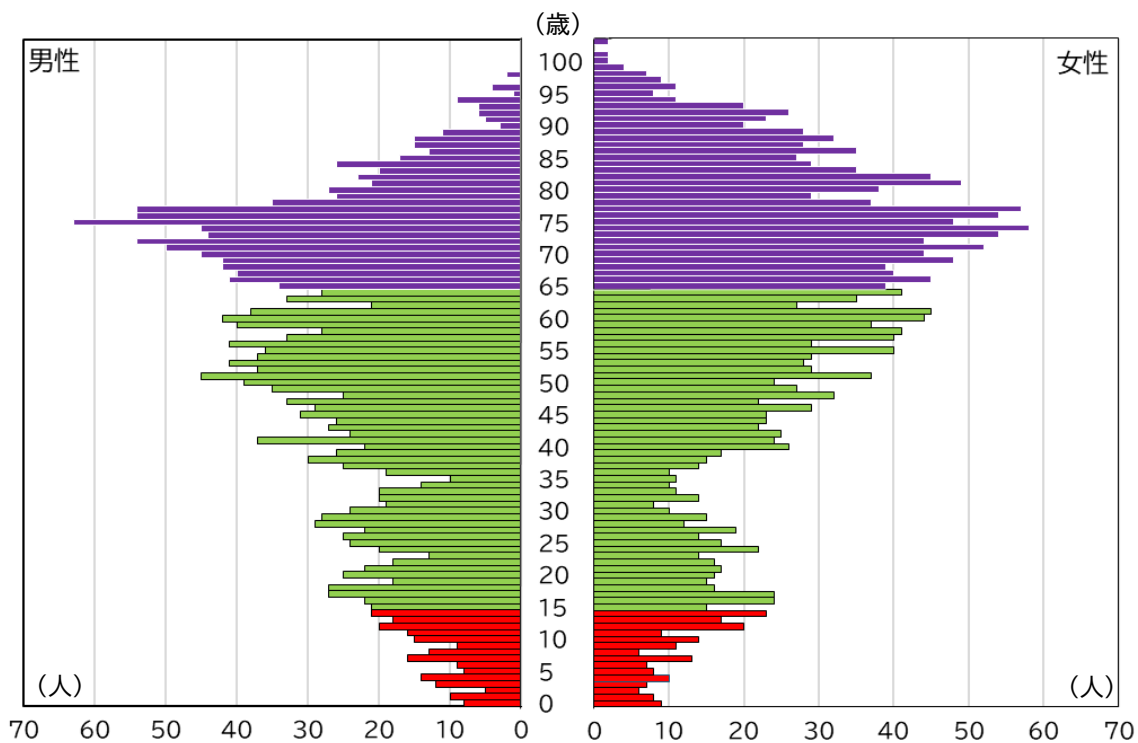
（1）3区分人口及び全人口

令和7（2025）年3月31日時点の住民基本台帳による由良町の人口は、4,965人です。
高齢化率は、41.7%となっています。

区 分	単 位	合 計	男 性	女 性
年少人口 (15歳未満)	人	362	194	168
	%	7.3	7.9	6.7
生産年齢人口 (15～64歳)	人	2,531	1,376	1,155
	%	51.0	55.9	46.2
老年人口 (65歳以上)	人	2,072	893	1,179
	%	41.7	36.3	47.1
全人口	人	4,965	2,463	2,502

出典：由良町「住民基本台帳」（令和7（2025）年）を基に作成

（2）人口ピラミッド



出典：由良町「住民基本台帳」（令和7（2025）年）を基に作成

団塊の世代と呼ばれる75歳前後の人口が、男女ともに突出して多く、それよりも若くなるにつれて人口が少なくなっている傾向にあります。

15歳未満や35歳前後の人口が特に少なくなっており、ほとんどの年齢で男女ともに20人を下回っています。また、年少人口・生産年齢人口では男性の方が多いのに対し、老年人口では女性の方が多くなっています。

(3) 行政区ごとの人口の現状

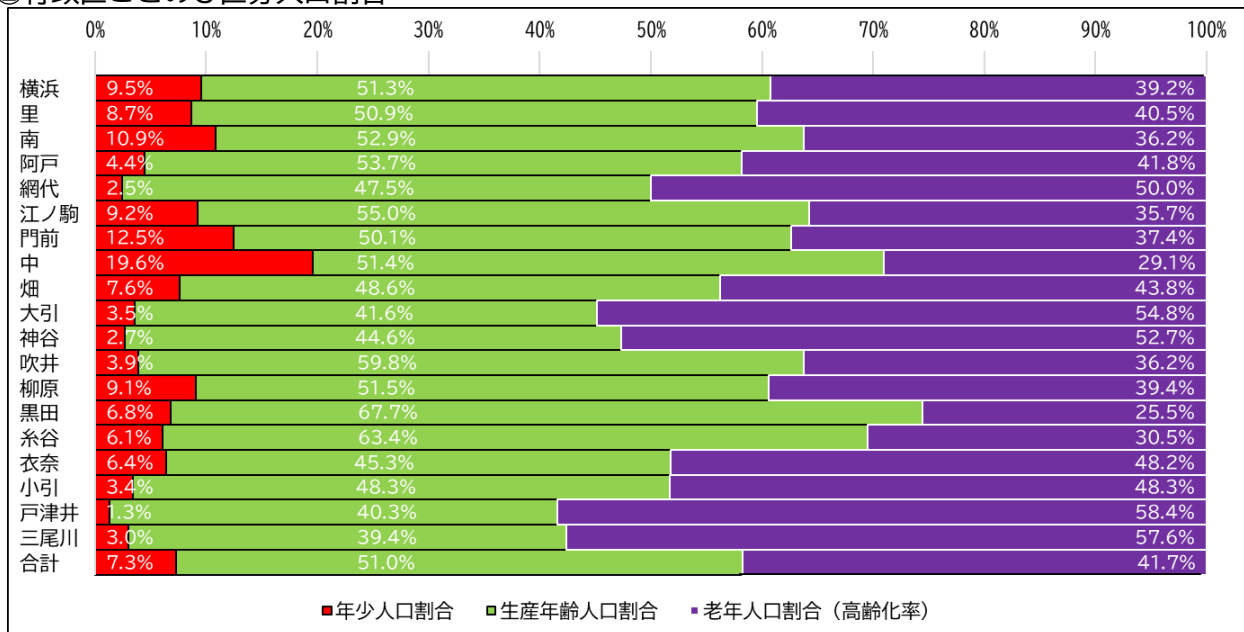
①行政区ごとの人口

単位:人、行政区数:19

行政区	全人口		男性計	女性計	年少人口 (15歳未満)			生産年齢人口 (15~64歳)			老年人口 (65歳以上)		
	人数	割合			合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
横浜	472	9.5%	223	249	45	25	20	242	118	124	185	80	105
里	393	7.9%	205	188	34	22	12	200	113	87	159	70	89
南	138	2.8%	72	66	15	10	5	73	42	31	50	20	30
阿戸	361	7.3%	189	172	16	8	8	194	117	77	151	64	87
網代	244	4.9%	109	135	6	4	2	116	62	54	122	43	79
江ノ駒	249	5.0%	131	118	23	14	9	137	75	62	89	42	47
門前	393	7.9%	190	203	49	26	23	197	97	100	147	67	80
中	148	3.0%	67	81	29	11	18	76	36	40	43	20	23
畑	288	5.8%	134	154	22	8	14	140	75	65	126	51	75
大引	310	6.2%	150	160	11	8	3	129	68	61	170	74	96
神谷	224	4.5%	105	119	6	3	3	100	48	52	118	54	64
吹井	127	2.6%	68	59	5	3	2	76	44	32	46	21	25
柳原	297	6.0%	148	149	27	15	12	153	94	59	117	39	78
黒田	427	8.6%	225	202	29	15	14	289	160	129	109	50	59
糸谷	82	1.7%	48	34	5	2	3	52	36	16	25	10	15
衣奈	483	9.7%	229	254	31	16	15	219	114	105	233	99	134
小引	87	1.8%	43	44	3	2	1	42	20	22	42	21	21
戸津井	77	1.6%	40	37	1	1	0	31	19	12	45	20	25
三尾川	165	3.3%	87	78	5	1	4	65	38	27	95	48	47
合計	4,965	100.0%	2,463	2,502	362	194	168	2,531	1,376	1,155	2,072	893	1,179

出典：由良町「住民基本台帳」(令和7(2025)年)を基に作成

②行政区ごとの3区分人口割合



出典：由良町「住民基本台帳」(令和7(2025)年)を基に作成

最も高齡化率が高い行政区は、戸津井 58.4%で他に三尾川 57.6%、大引 54.8%、神谷 52.7%、網代 50.0%の計5行政区が 50%を超えています。一方、高齡化率が最も低い行政区は黒田 25.5%となっています。

年少人口比率では中 19.6%が他地区と比べて突出して高くなっています。

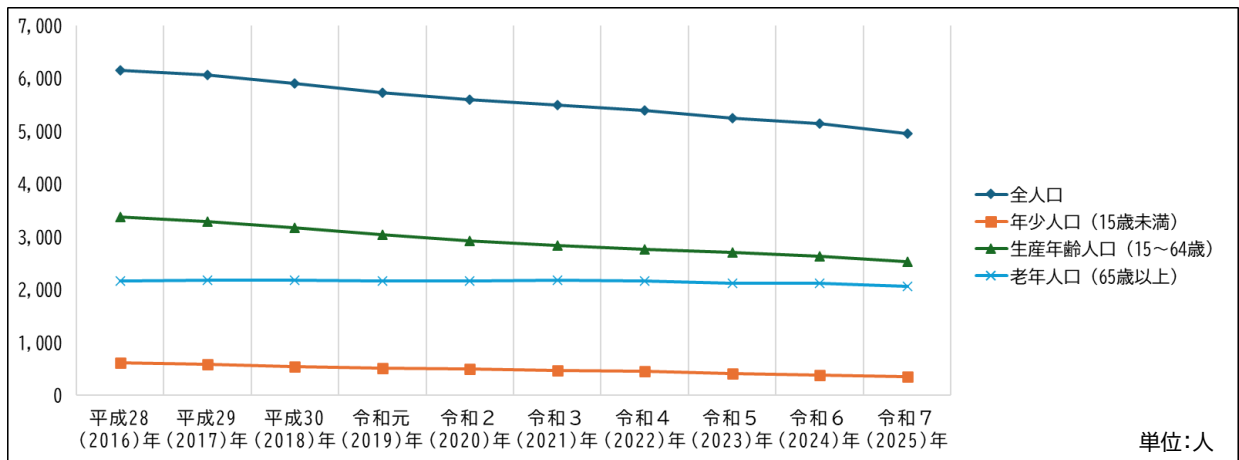
2. 由良町の人口の推移

(1) 住民基本台帳における近年の人口の変遷（各年3月31日時点住民基本台帳）

①全人口及び3区分人口の推移（平成28（2016）年～令和7（2025）年）

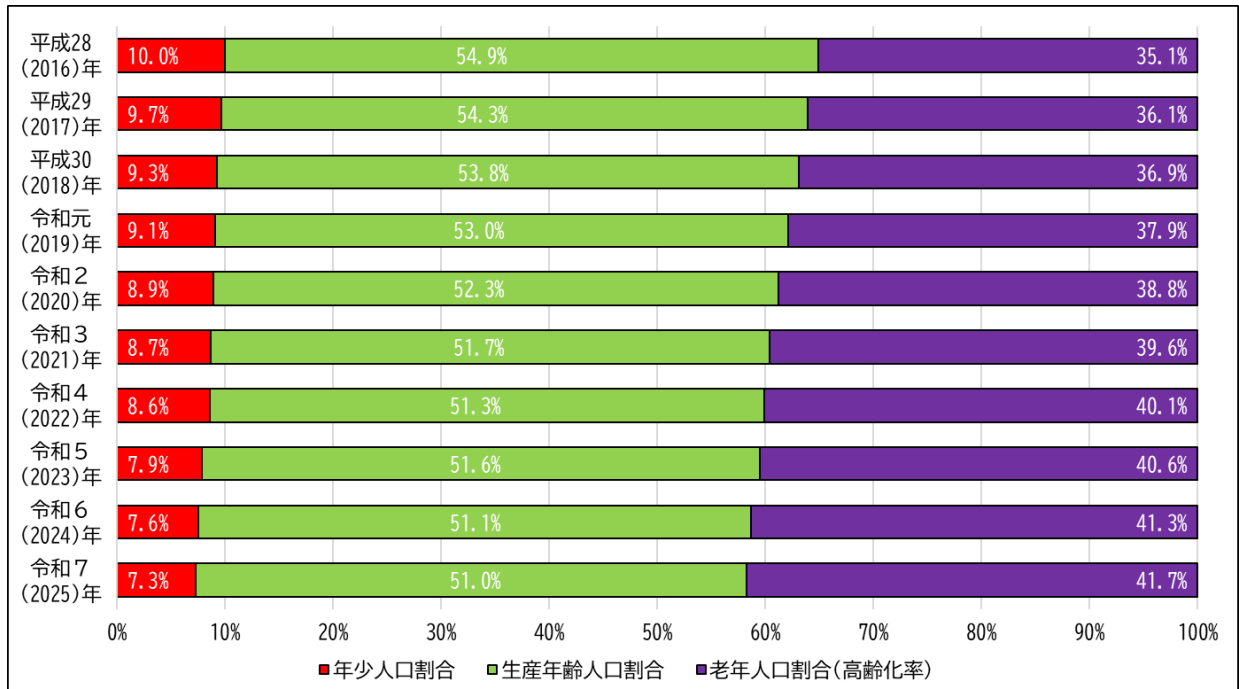
単位：人

区分	平成28 (2016)年	平成29 (2017)年	平成30 (2018)年	令和元 (2019)年	令和2 (2020)年	令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年
全人口	6,161	6,061	5,901	5,738	5,601	5,497	5,393	5,250	5,144	4,965
年少人口（15歳未満）	614	585	548	523	500	478	462	414	389	362
生産年齢人口（15～64歳）	3,384	3,291	3,177	3,041	2,928	2,842	2,768	2,707	2,630	2,531
老年人口（65歳以上）	2,163	2,185	2,176	2,174	2,173	2,177	2,163	2,129	2,125	2,072



出典：由良町「住民基本台帳」（平成28（2016）年～令和7（2025）年）を基に作成

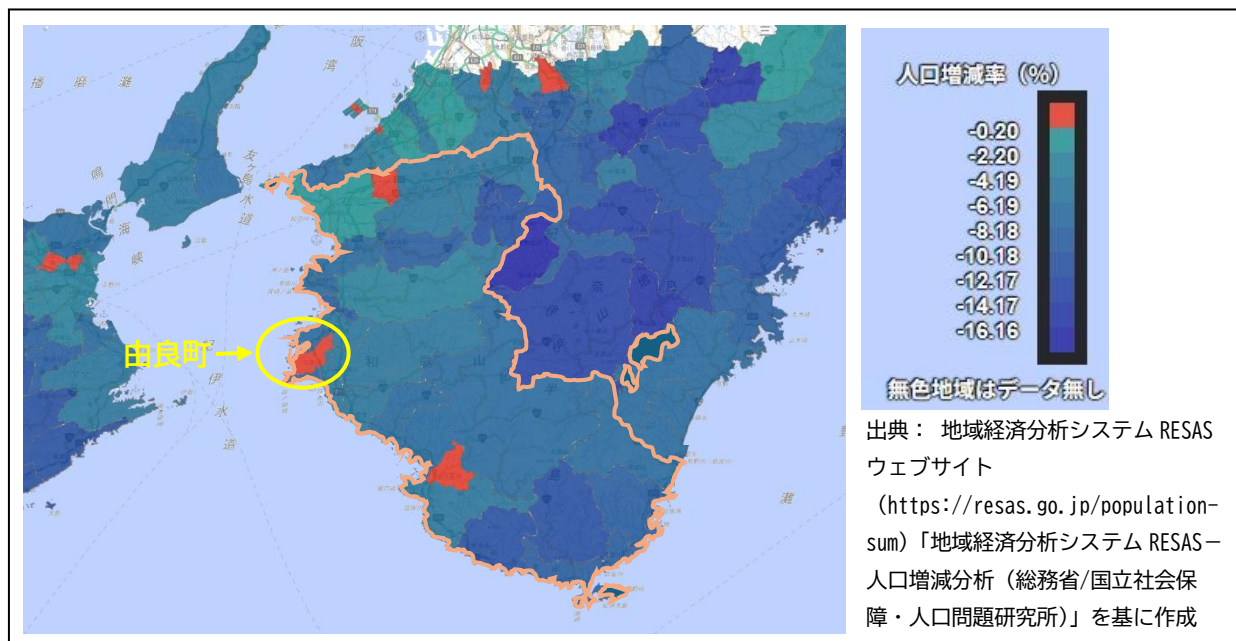
②3区分人口割合の推移（平成28（2016）年～令和7（2025）年）



出典：由良町「住民基本台帳」（平成28（2016）年～令和7（2025）年）を基に作成

③和歌山県内の市町村の人口増減状況（令和2（2020）年）

和歌山県内のほとんどの市町村で、由良町と同様に人口が減少していますが、岩出市や上富田町、由良町の南側に隣接する日高町では増加しています。

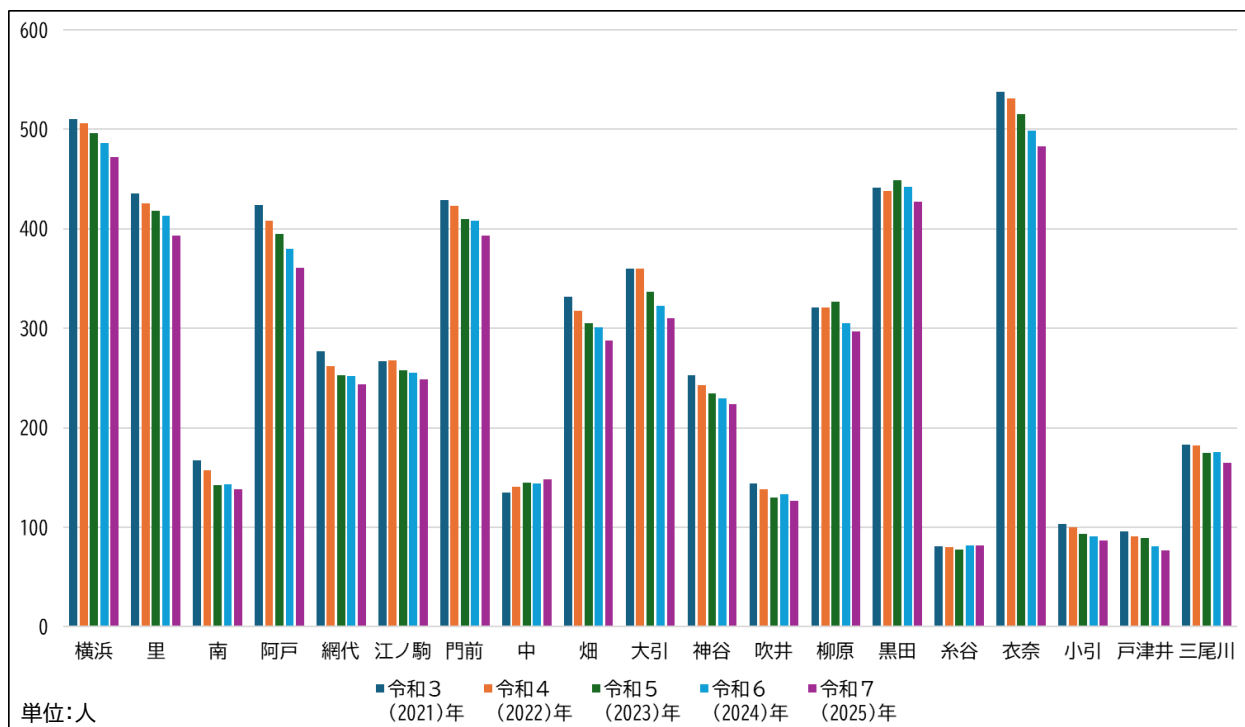


④行政区人口の推移（令和3（2021）年～令和7（2025）年）

ほとんどの行政区において人口減少が続いていますが、中は令和3（2021）年 135 人から令和7（2025）年 148 人と増加傾向にあり、糸谷は令和3年（2021）年 81 人から令和7（2025）年 82 人と維持しています。

単位：人、行政区数：19

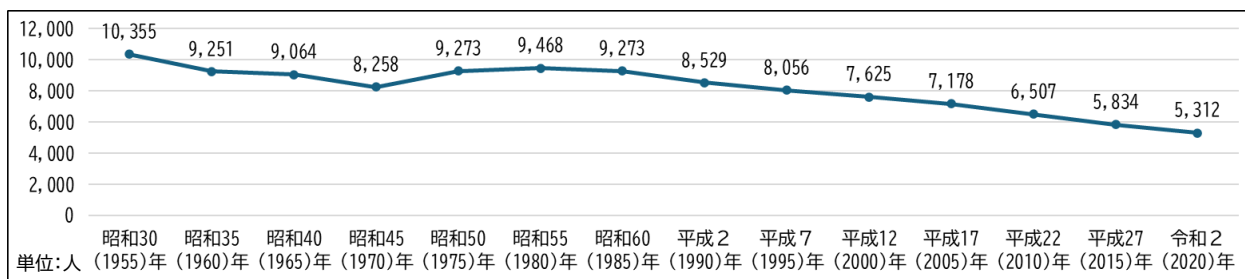
行政区	令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年
横浜	510	506	496	486	472
里	436	426	418	413	393
南	167	157	142	143	138
阿戸	424	408	395	380	361
網代	277	262	253	252	244
江ノ駒	267	268	258	255	249
門前	429	423	410	408	393
中	135	141	145	144	148
畑	332	318	305	301	288
大引	360	360	337	323	310
神谷	253	243	235	230	224
吹井	144	138	130	133	127
柳原	321	321	327	305	297
黒田	441	438	449	442	427
糸谷	81	80	78	82	82
衣奈	538	531	515	499	483
小引	103	100	93	91	87
戸津井	96	91	89	81	77
三尾川	183	182	175	176	165



出典：由良町「住民基本台帳」（令和3（2021）年～令和7（2025）年）を基に作成

(2) 国勢調査における長期的な人口の変遷

①全人口の推移（昭和30（1955）年～令和2（2020）年）

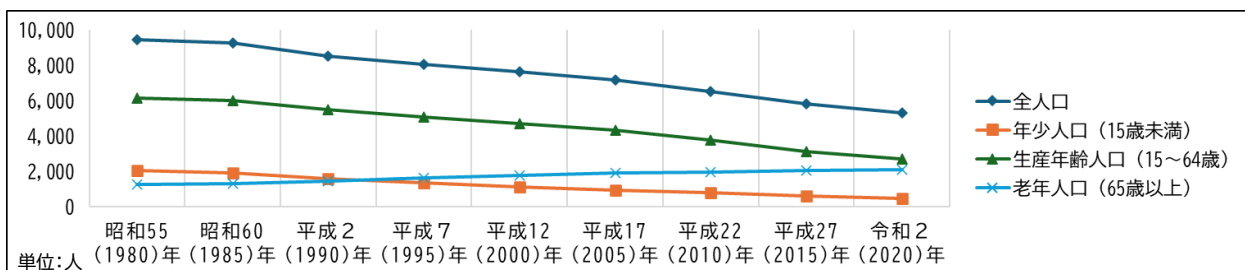


出典：総務省「国勢調査」（昭和30（1955）年～令和2（2020）年）を基に作成

②全人口及び3区分人口の推移（昭和55（1980）年～令和2（2020）年）

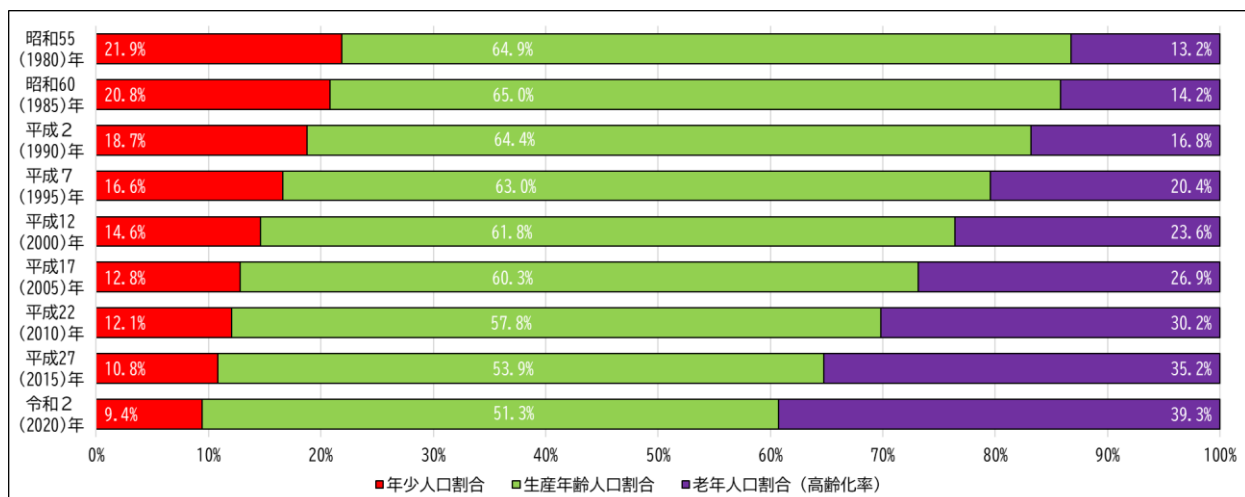
単位:人

区分	昭和55 (1980)年	昭和60 (1985)年	平成2 (1990)年	平成7 (1995)年	平成12 (2000)年	平成17 (2005)年	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	令和2 (2020)年
全人口	9,468	9,273	8,529	8,056	7,625	7,178	6,507	5,834	5,312
年少人口（15歳未満）	2,069	1,931	1,599	1,340	1,114	919	785	632	500
生産年齢人口（15～64歳）	6,146	6,027	5,496	5,072	4,712	4,331	3,758	3,147	2,724
老年人口（65歳以上）	1,253	1,315	1,434	1,644	1,799	1,928	1,964	2,055	2,088



出典：総務省「国勢調査」（昭和55（1980）年～令和2（2020）年）を基に作成

③3区分人口割合の推移（昭和55（1980）年～令和2（2020）年）



出典：総務省「国勢調査」（昭和55（1980）年～令和2（2020）年）を基に作成

由良町の人口は、昭和30（1955）年の10,355人をピークに減少に転じ、高度経済成長期に一時的に人口増加があったものの、昭和55（1980）年以降は減少が続いています。老年人口は増加し続けており、平成7（1995）年に年少人口を上回り、生産年齢人口との差も小さくなっています。

Ⅲ 由良町の人口の分析

1. 由良町の人口動向分析

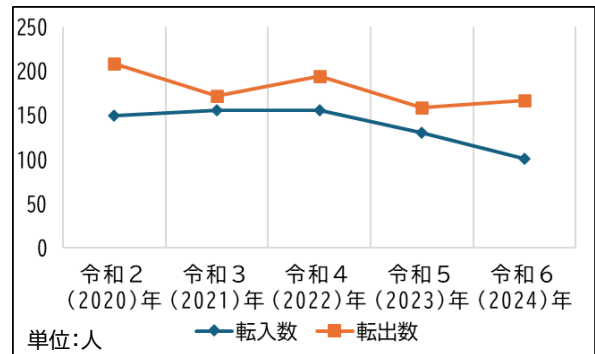
(1) 移動に関する状況と分析（住民基本台帳人口移動報告）

① 転入・転出の推移（令和2（2020）年～令和6（2024）年）

令和2（2020）年から令和6（2024）年までの5年間に於ける社会増減は、人数の増減はありますが、一貫して転出超過にあります。

単位：人

区分	令和2 (2020)年	令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	
転入者	男性	85	85	87	69	56
	女性	65	71	69	61	45
	合計	150	156	156	130	101
転出者	男性	120	96	105	80	77
	女性	89	76	90	79	90
	合計	209	172	195	159	167
社会増減	-59	-16	-39	-29	-66	

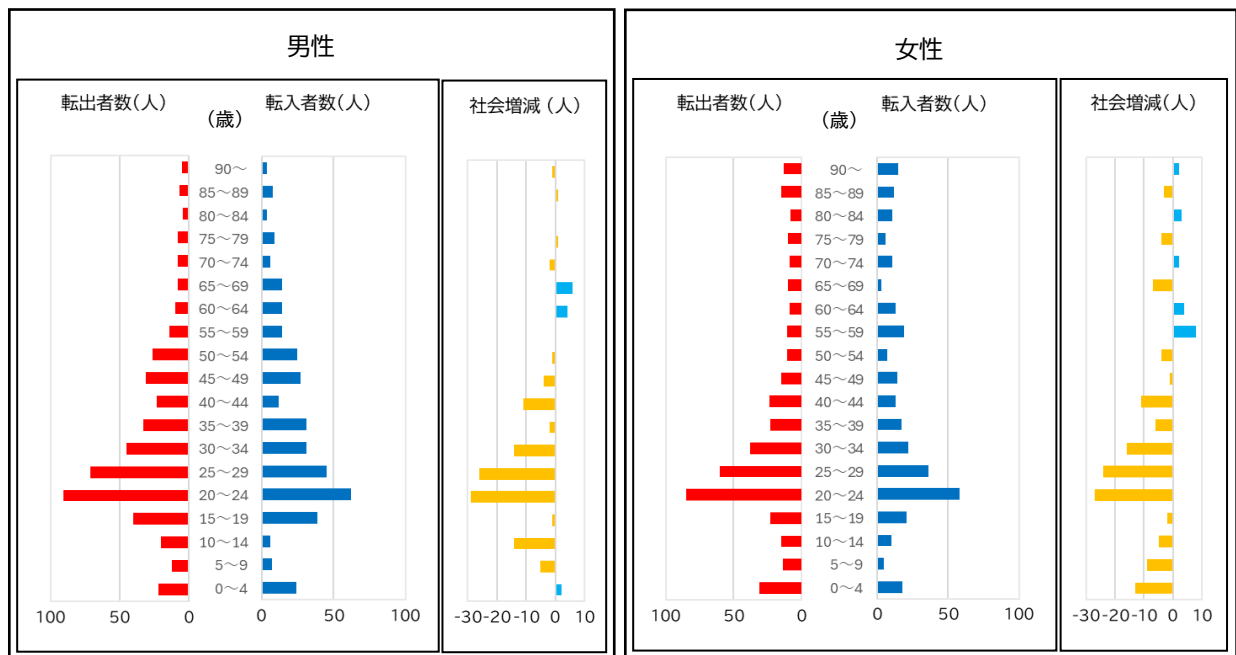


出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」（令和2（2020）年～令和6（2024）年）を基に作成

② 男女・5歳階級別の社会増減（5年間の累計）

令和2（2020）年から令和6（2024）年までの5年間に於ける転入者・転出者を、男女・5歳階級別に合算して図示したものです。

男女ともに20歳代の転入者数・転出者数が最も大きくなっています。また、全体的に転出超過となっており、特に20歳から24歳までの若い世代の転出超過が顕著となっています。



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」（令和2（2020）年～令和6（2024）年）を基に作成

③転入出者数上位地域（地域経済分析システム RESAS）

転入出数上位地域のデータによると、近年、転入数では和歌山市・御坊市・大阪市からの転入が、転出数では和歌山市・御坊市・日高町への転出が多くなっています。

転入者数上位地域

単位：人

		令和2 (2020)年	令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年
1位	自治体	御坊市	御坊市	和歌山市	和歌山市
	人数	24	22	26	23
2位	自治体	日高町	大阪市	大阪市	御坊市
	人数	14	12	17	11
全体	人数	150	156	156	130

転出者数上位地域

単位：人

		令和2 (2020)年	令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年
1位	自治体	御坊市	和歌山市	和歌山市	御坊市
	人数	21	22	32	17
2位	自治体	大阪市	日高町	日高町	大阪市
	人数	18	20	19	13
全体	人数	209	172	195	159

出典： 地域経済分析システム RESAS ウェブサイト

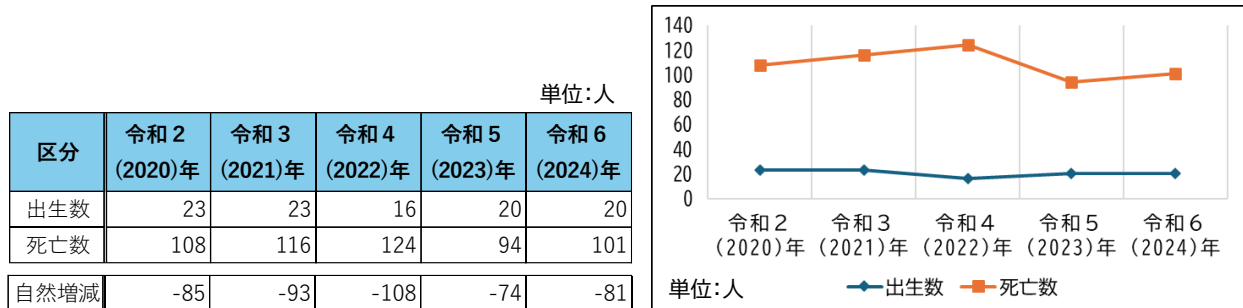
(<https://resas.go.jp/population-society>)

「地域経済分析システム RESAS－社会増減分析（総務省）」
を基に作成

(2) 出生に関する状況と分析

① 出生数と死亡数の推移（住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査）

令和2（2020）年から令和6（2024）年までの5年間における自然増減は、社会増減と同様、人数の増減はありますが、一貫して減少傾向にあります。



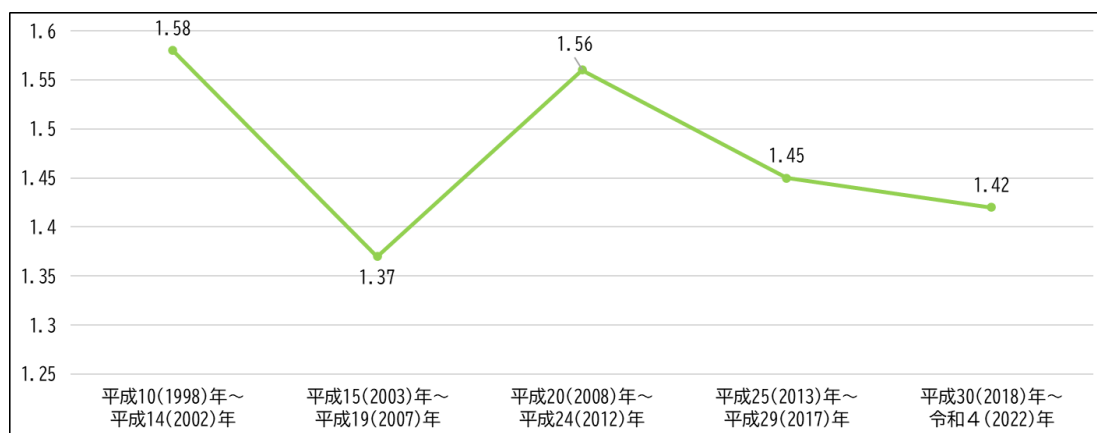
出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（令和2（2020）年～令和6（2024）年）を基に作成

② 合計特殊出生率と出生数の推移（人口動態保健所・市区町村別統計）

合計特殊出生率について、厚生労働省の統計資料では、平成15（2003）年から平成19（2007）年までの期間に1.37に減少し、その後回復してはいるものの、再び減少が続いています。

区分	平成10(1998)年～ 平成14(2002)年	平成15(2003)年～ 平成19(2007)年	平成20(2008)年～ 平成24(2012)年
合計特殊出生率	1.58	1.37	1.56

平成25(2013)年～ 平成29(2017)年	平成30(2018)年～ 令和4(2022)年
1.45	1.42



出典：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」（平成10（1998）年～令和4（2022）年）を基に作成

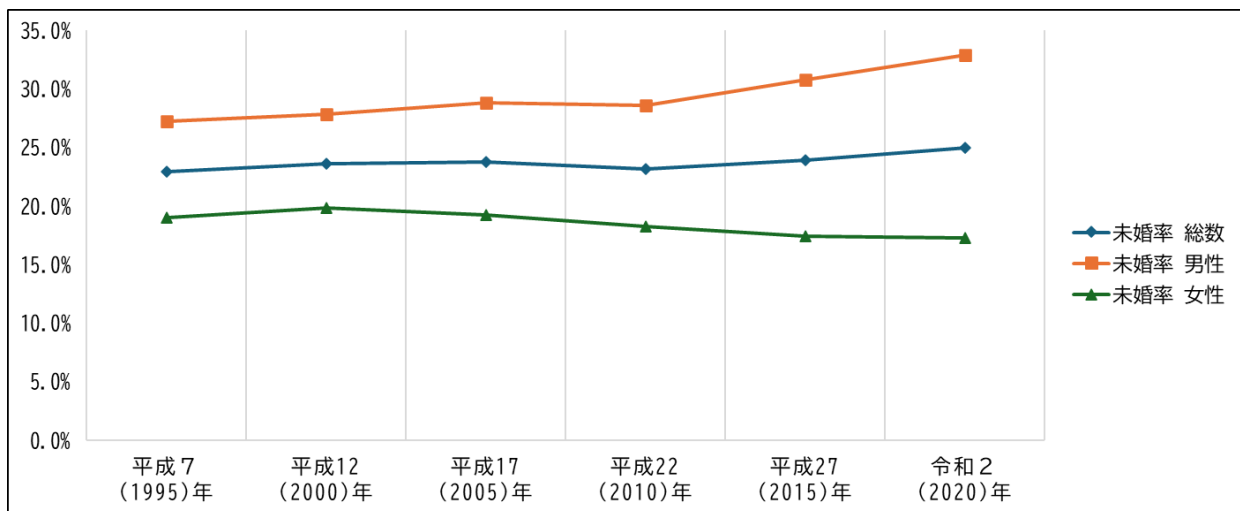
(3) 配偶者に関する状況と分析（男女別未婚率の推移）

男女を合わせた未婚率は横ばい傾向にありましたが、平成 27（2015）年以降は増加傾向にあります。女性の未婚率が減少している一方で、男性の未婚率は増加しており、その差が拡大しています。

令和 2（2020）年の全国の未婚率は、男女合わせて 26.3%、男性 30.4%、女性 22.5%となっており、それと比較すると、由良町における男性の未婚率はより高く、女性の未婚率はより低くなっています。

単位：人

区分		平成 7 (1995)年	平成12 (2000)年	平成17 (2005)年	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	令和 2 (2020)年
15歳以上 人口	総数	6,716	6,511	6,259	5,722	5,202	4,812
	男性	3,163	3,074	2,956	2,706	2,519	2,375
	女性	3,553	3,437	3,303	3,016	2,683	2,437
未婚者	総数	1,539	1,539	1,487	1,324	1,243	1,203
	男性	862	857	852	773	776	782
	女性	677	682	635	551	467	421
未婚率	総数	22.9%	23.6%	23.8%	23.1%	23.9%	25.0%
	男性	27.3%	27.9%	28.8%	28.6%	30.8%	32.9%
	女性	19.1%	19.8%	19.2%	18.3%	17.4%	17.3%



出典：総務省「国勢調査」（平成 7（1995）年～令和 2（2020）年）を基に作成

(4) 就労等に関する状況と分析

①産業別 15 歳以上就業者（国勢調査）

単位：人

区分	総数	A 農業、林業	うち農業	B 漁業	C 鉱業、 採石業、 砂利採取業	D 建設業	E 製造業	F 電気・ ガス・熱供 給・水道業	
和歌山県	総数	428,780	32,917	31,915	1,856	56	31,881	60,078	2,369
			7.7%	7.4%	0.4%	0.0%	7.4%	14.0%	0.6%
	男性	230,723	18,262	17,388	1,571	47	26,685	40,800	2,108
由良町	総数	2,525	290	286	79	0	189	439	15
			11.5%	11.3%	3.1%	0.0%	7.5%	17.4%	0.6%
	男性	1,456	166	163	65		157	340	11
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	21,746	67,184	5,248	24,814	18,757	14,407		
			15.7%	1.2%	5.8%	4.4%	3.4%		
	男性	8,899	17,896	3,167	15,819	13,146	7,668		
由良町	総数	110	394	60	119	108	26		
			15.6%	2.4%	4.7%	4.3%	1.0%		
	男性	49	114	37	80	76	18		
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	21,746	67,184	5,248	24,814	18,757	14,407		
			15.7%	1.2%	5.8%	4.4%	3.4%		
	男性	8,899	17,896	3,167	15,819	13,146	7,668		
由良町	総数	110	394	60	119	108	26		
			15.6%	2.4%	4.7%	4.3%	1.0%		
	男性	49	114	37	80	76	18		
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%	5.8%	3.0%
	男性	4	62	149	13	6	27	46	36
和歌山県	総数	4,184	19,988	62,966	8,438	5,477	9,403	23,249	13,762
			4.7%	14.7%	2.0%	1.3%	2.2%	5.4%	3.2%
	男性	2,991	16,341	28,901	3,497	3,028	6,003	8,166	5,728
由良町	総数	7	71	320	31	11	33	147	76
			2.8%	12.7%	1.2%	0.4%	1.3%</		

③農産物販売金額規模別経営体数（農林業センサス）

年次	総計	販売なし	50万円 未満	50万～ 100万円	100万～ 300万円	300万～ 500万円	500万～ 1,000万円	1,000万～ 3,000万円	単位
平成12（2000）年	284	10	80	45	71	38	35	5	戸
平成17（2005）年	247	16	51	41	72	29	32	6	戸
平成22（2010）年	229	11	63	48	58	16	26	7	経営体
平成27（2015）年	198	12	65	30	41	16	26	8	経営体
令和2（2020）年	174	10	37	30	43	17	26	11	経営体

出典：農林水産省「農林業センサス」（平成12（2000）年～令和2（2020）年）を基に作成

※農林業センサスにおいて、平成17（2005）年までは農家、平成22（2010）年以降は農業経営体を調査対象としているため、それに準じています。

販売金額が1,000万円から3,000万円までの経営体数が増加している一方、その他の経営体数は減少しています。販売金額の大きい経営体に集積されていると考えられます。

④漁業経営体数（漁業センサス）

単位：経営体

区分	総計	漁船 非使用	漁船 使用	小型 定置網	地びき網	海面養殖					
						のり 養殖	わかめ 養殖	はまち 養殖	たい 養殖	ぶり 養殖	その他
平成5（1993）年	267	0	243	16	1	0	2	3	1	0	1
平成10（1998）年	235	1	215	13	1	0	2	1	1	0	1
平成15（2003）年	183	1	168	10	0	0	1	1	1	0	1
平成20（2008）年	133	0	117	11	0	0	4	1	0	0	0
平成25（2013）年	104	1	87	10	0	0	6	0	0	0	0
平成30（2018）年	83	0	72	6	0	0	5	0	0	0	0
令和5（2023）年	68	0	56	7	0	0	4	0	0	1	0

出典：農林水産省「漁業センサス」（平成5（1993）年～令和5（2023）年）を基に作成

漁業経営体数は減少が続いており、平成25（2013）年から平成30（2018）年までの間に総計が100経営体を下回りました。

⑤工業の事業所数及び従業者数（工業統計調査）

年次	事業所数	従業者数 （人）	製造品出荷額 （百万円）
平成25（2013）年	13	472	15,094
平成26（2014）年	13	482	16,382
平成27（2015）年	15	537	19,072
平成28（2016）年	10	537	17,475
平成29（2017）年	9	499	15,080
平成30（2018）年	9	508	14,814
令和元（2019）年	9	485	15,653
令和2（2020）年	10	461	17,148
令和3（2021）年	12	477	13,395
令和4（2022）年	12	451	15,395
令和5（2023）年	12	456	16,498

出典：経済産業省「工業統計調査」（平成25（2013）年～令和5（2023）年）を基に作成

事業所数は、平成29（2017）年に9事業所まで落ち込みましたが近年は増加しています。一方、従業者数は、概ね減少傾向です。製造品出荷額は、増減はありますが一定の水準を維持しています。

⑥観光客数（和歌山県観光客動態調査）

年度	観光客数（人）			変化率（％）		
	宿泊者数	日帰り客	総計	宿泊者数	日帰り客	総計
平成27（2015）年	30,734	171,328	202,062	100.0	100.0	100.0
平成28（2016）年	29,132	195,682	224,814	94.8	114.2	111.3
平成29（2017）年	31,366	184,603	215,969	107.7	94.3	96.1
平成30（2018）年	28,550	141,464	170,014	91.0	76.6	78.7
令和元（2019）年	17,346	122,225	139,571	60.8	86.4	82.1
令和2（2020）年	12,154	217,150	229,304	70.1	177.7	164.3
令和3（2021）年	16,703	291,129	307,832	137.4	134.1	134.2
令和4（2022）年	17,213	345,938	363,151	103.1	118.8	118.0
令和5（2023）年	14,512	274,128	288,640	84.3	79.2	79.5
令和6（2024）年	17,416	290,899	308,315	120.0	106.1	106.8

出典：和歌山県「観光客動態調査」（平成27（2015）年～令和6（2024）年）を基に作成

宿泊者数は、令和元（2019）年に大幅に減少して以降、20,000人以下で推移しています。一方、日帰り客数は、令和2（2020）年に大幅に増加して以降、200,000人以上で推移しています。総計としては、令和2（2020）年以降と以前を比較すると増加しています。

新型コロナウイルス感染症等の影響により、観光のあり方が変わったことも一因と考えられます。

⑦夜間人口（常住地による人口）・昼間人口（従業地・通学地による人口）（国勢調査）

【総数】

単位：人

区分	総数 (夜間人口)	従業も通学もしていない	自宅に従業	自宅外の市区町村で従業・通学	県内他市区町村で従業・通学	他県で従業・通学	従業・通学市区町村「不詳・外国」	従業地・通学地「不詳」	総数 (昼間人口)	県内他市区町村に常住	他県に常住
男性	435,051	120,569 27.7%	33,935 7.8%	154,425 35.5%	60,103 13.8%	22,073 5.1%	1,820 0.4%	42,126 9.7%	425,873	60,103 13.8%	12,895 3.0%
女性	487,533	209,689 43.0%	28,143 5.8%	154,183 31.6%	44,153 9.1%	10,519 2.2%	1,092 0.2%	39,754 8.2%	482,556	44,153 9.1%	5,542 1.1%
由良町	5,364	2,142 39.9%	551 10.3%	1,131 21.1%	1,255 23.4%	29 0.5%	21 0.4%	235 4.4%	4,917	817 16.6%	20 0.4%
男性	2,685	826 30.8%	335 12.5%	633 23.6%	714 26.6%	17 0.6%	13 0.5%	147 5.5%	2,533	561 22.1%	18 0.7%
女性	2,679	1,316 49.1%	216 8.1%	498 18.6%	541 20.2%	12 0.4%	8 0.3%	88 3.3%	2,384	256 10.7%	2 0.1%

【就業者数】

単位：人

区分	総数 (常住地による人口)	自宅に従業	自宅外の市区町村で従業・通学	県内他市区町村で従業・通学	他県で従業・通学	従業・通学市区町村「不詳・外国」	(従業地・通学地)不詳	総数 (従業地・通学地による人口)	県内他市区町村に常住	他県に常住
男性	230,723	33,935 14.7%	116,442 50.5%	54,496 23.6%	19,023 8.2%	1,510 0.7%	5,317 2.3%	222,354	54,496 24.5%	10,654 4.8%
女性	198,057	28,143 14.2%	118,252 59.7%	38,814 19.6%	7,641 3.9%	834 0.4%	4,373 2.2%	194,560	38,814 19.9%	4,144 2.1%
由良町	2,525	551 21.8%	824 32.6%	1,096 43.4%	16 0.6%	15 0.6%	23 0.9%	2,249	816 36.3%	20 0.9%
男性	1,456	335 23.0%	471 32.3%	617 42.4%	12 0.8%	9 0.6%	12 0.8%	1,405	560 39.9%	18 1.3%
女性	1,069	216 20.2%	353 33.0%	479 44.8%	4 0.4%	6 0.6%	11 1.0%	844	256 30.3%	2 0.2%

出典：総務省「国勢調査」（令和2（2020）年）を基に作成

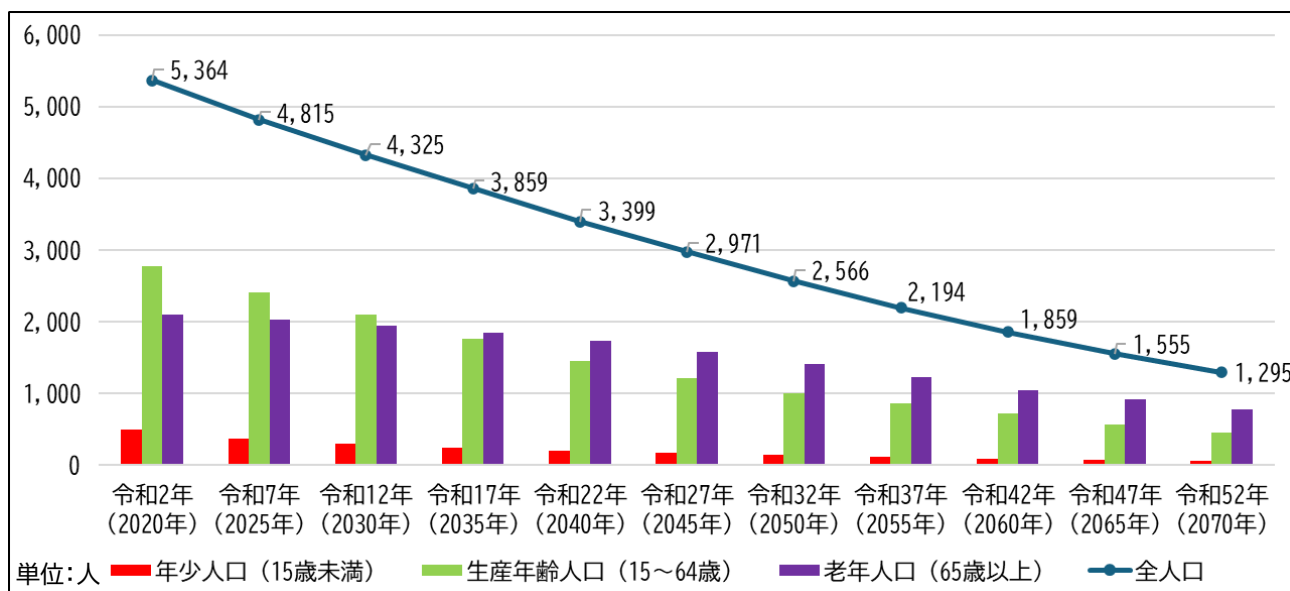
由良町では、他市区町村へ従業・通学する人の割合と他市区町村から従業・通学する人の割合が、いずれも和歌山県全体より高くなっています。就業者数で見ると、その割合がより大きくなっています。

IV 由良町の将来人口

1. 社人研推計準拠

社人研の人口推計は、令和2（2020）年の国勢調査を基に、合計特殊出生率・生残率・移動率といった個別の要素ごとに仮定値を設けて推計を行う「コーホート要因法」により算出されています。令和5（2023）年に発表された推計では、令和32（2050）年まで5年ごとの各市区町村の推計が発表されています。社人研推計は社会増減と合計特殊出生率について、現状の傾向が継続する想定をしています。

国から提供された「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和6年6月版）」により、社人研推計に準拠した方法で、令和52（2070）年までの人口推計の算出が可能となっています。ここではその算出結果を「社人研推計準拠の将来人口推計」として示しています。



単位:人

	令和2 (2020)年	令和7 (2025)年	令和12 (2030)年	令和17 (2035)年	令和22 (2040)年	令和27 (2045)年	令和32 (2050)年	令和37 (2055)年	令和42 (2060)年	令和47 (2065)年	令和52 (2070)年
全人口	5,364	4,815	4,325	3,859	3,399	2,971	2,566	2,194	1,859	1,555	1,295
年少人口 (15歳未満)	500	371	292	241	205	174	142	112	89	70	58
生産年齢人口 (15~64歳)	2,771	2,411	2,095	1,767	1,453	1,216	1,008	860	719	570	455
老年人口 (65歳以上)	2,093	2,033	1,938	1,851	1,740	1,582	1,415	1,223	1,051	914	782

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」（令和5（2023）年）

「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和6年6月版）」（令和6（2024）年）を基に作成

2. 独自シミュレーション

前述したワークシートでは、独自に合計特殊出生率と移動率の仮定値を設定することで、独自シミュレーション結果を算出することが可能となっています。ここでは、由良町が施策を行うことで合計特殊出生率・移動率を現状の傾向から変化させると仮定し、独自に複数の仮定値を設定して「独自の将来人口推計」を算出します。その上で、現状の傾向が継続すると想定して算出された社人研推計準拠の将来人口推計との比較を行います。

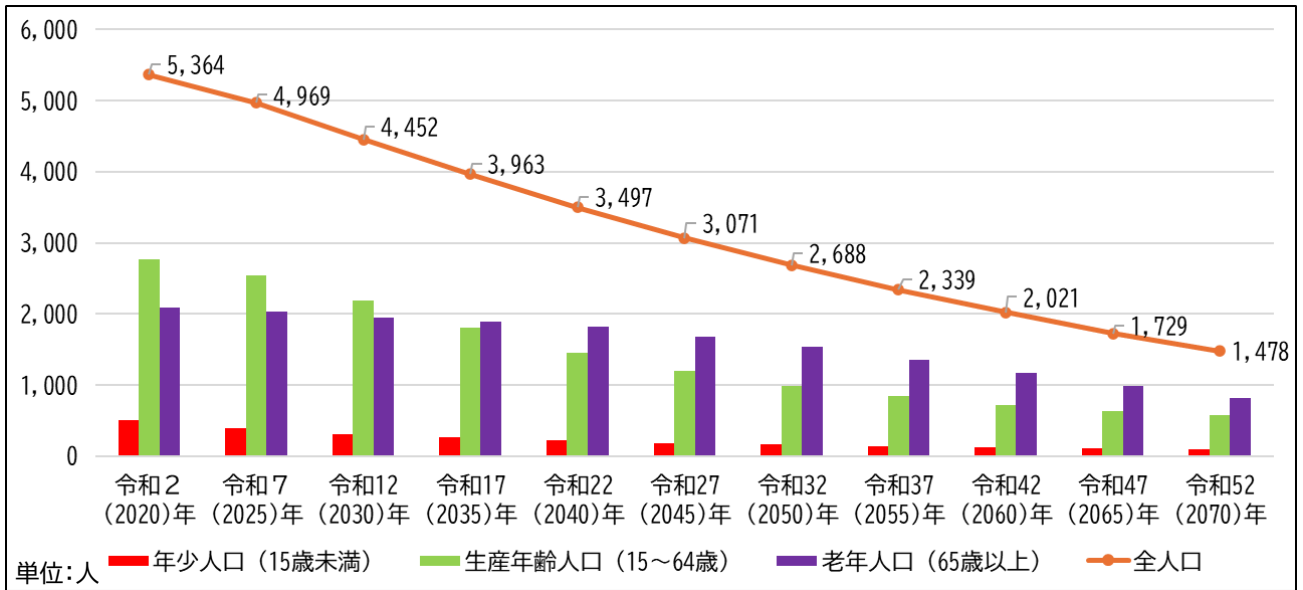
合計特殊出生率：主な指標として、国が算出する希望出生率 1.8 を採用します。希望出生率は、若い世代における結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう場合に想定される出生率です。

移動率：特に転出超過が多い 20 歳代の若者に対して重点的に町内での定住・就職・Uターン等を支援することで、転出超過が減少すると仮定します。他の年代についても定住施策等を強化することで、移動率が上昇すると仮定します。

以下、3種類のシミュレーションを行っており、合計特殊出生率と移動率の仮定値は、シミュレーションごとに値を設定しています。

シミュレーション1	
合計特殊出生率	現状の合計特殊出生率 1.42 (2018~2022 年) から段階的に上昇し、2060 年に希望出生率 1.8 まで到達。その後その水準を維持する。
移動率	20 歳代の移動率を 5 年ごとに 2.0%、それ以外の年代の移動率を 5 年ごとに 1.0% ずつ上昇させる。各年代で移動率が 0 を超えた時点 (転入超過となった時点) からはその時点の移動率を維持し続ける。
シミュレーション2	
合計特殊出生率	シミュレーション1と同様
移動率	20 歳代の移動率を 5 年ごとに 3.0%、それ以外の年代の移動率を 5 年ごとに 1.5% ずつ上昇させる。各年代で移動率が 0 を超えた時点 (転入超過となった時点) からはその時点の移動率を維持し続ける。
シミュレーション3	
合計特殊出生率	シミュレーション1と同様
移動率	20 歳代の移動率を 5 年ごとに 4.0%、それ以外の年代の移動率を 5 年ごとに 2.0% ずつ上昇させる。各年代で移動率が 0 を超えた時点 (転入超過となった時点) からはその時点の移動率を維持し続ける。

(1) シミュレーション1

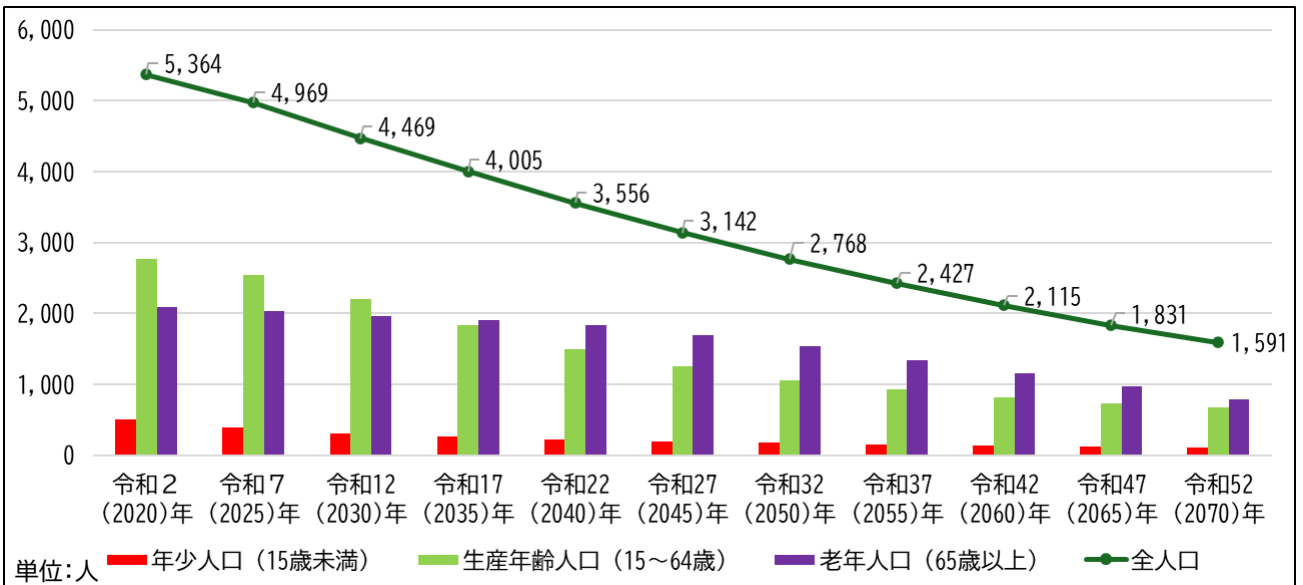


単位:人

	令和2 (2020)年	令和7 (2025)年	令和12 (2030)年	令和17 (2035)年	令和22 (2040)年	令和27 (2045)年	令和32 (2050)年	令和37 (2055)年	令和42 (2060)年	令和47 (2065)年	令和52 (2070)年
全人口	5,364	4,969	4,452	3,963	3,497	3,071	2,688	2,339	2,021	1,729	1,478
年少人口 (15歳未満)	500	394	309	261	220	187	162	139	121	104	93
生産年齢人口 (15~64歳)	2,771	2,545	2,190	1,804	1,456	1,202	992	847	724	638	574
老年人口 (65歳以上)	2,093	2,030	1,953	1,898	1,821	1,682	1,534	1,353	1,176	987	811

出典:「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート (令和6年6月版)」(令和6 (2024)年)を基に作成

(2) シミュレーション2

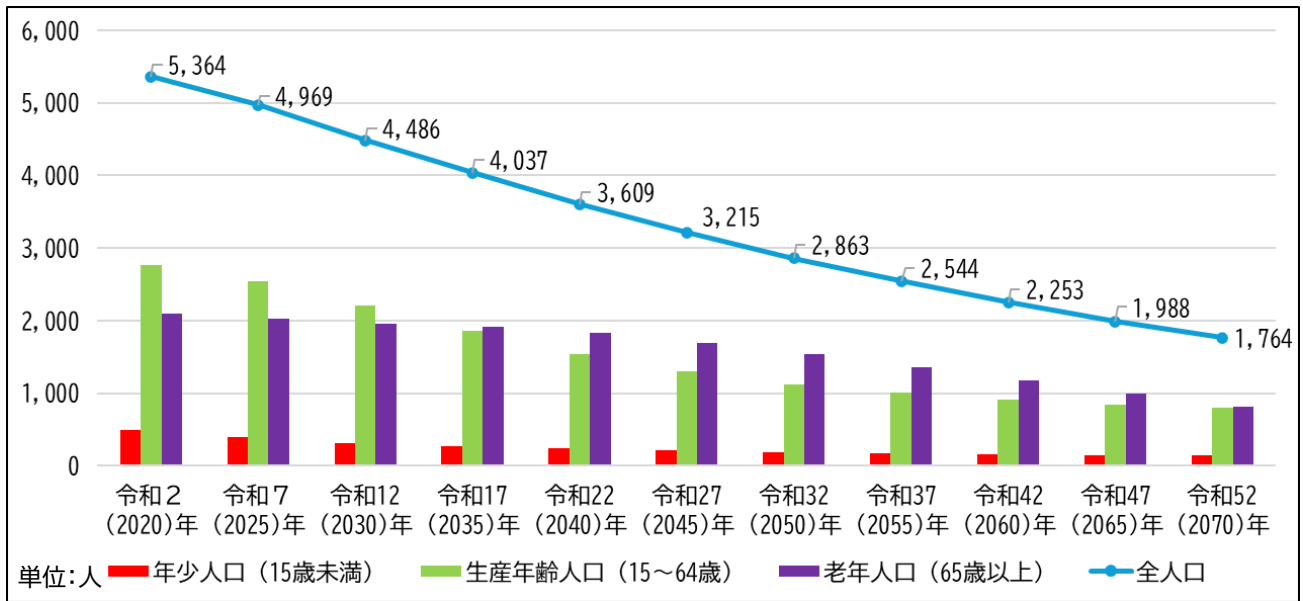


単位:人

	令和2 (2020)年	令和7 (2025)年	令和12 (2030)年	令和17 (2035)年	令和22 (2040)年	令和27 (2045)年	令和32 (2050)年	令和37 (2055)年	令和42 (2060)年	令和47 (2065)年	令和52 (2070)年
全人口	5,364	4,969	4,469	4,005	3,556	3,142	2,768	2,427	2,115	1,831	1,591
年少人口 (15歳未満)	500	394	310	266	228	199	177	157	140	124	115
生産年齢人口 (15~64歳)	2,771	2,545	2,201	1,831	1,497	1,254	1,057	925	814	738	680
老年人口 (65歳以上)	2,093	2,030	1,957	1,908	1,831	1,689	1,534	1,345	1,161	969	796

出典:「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート (令和6年6月版)」(令和6 (2024)年)を基に作成

(3) シミュレーション3

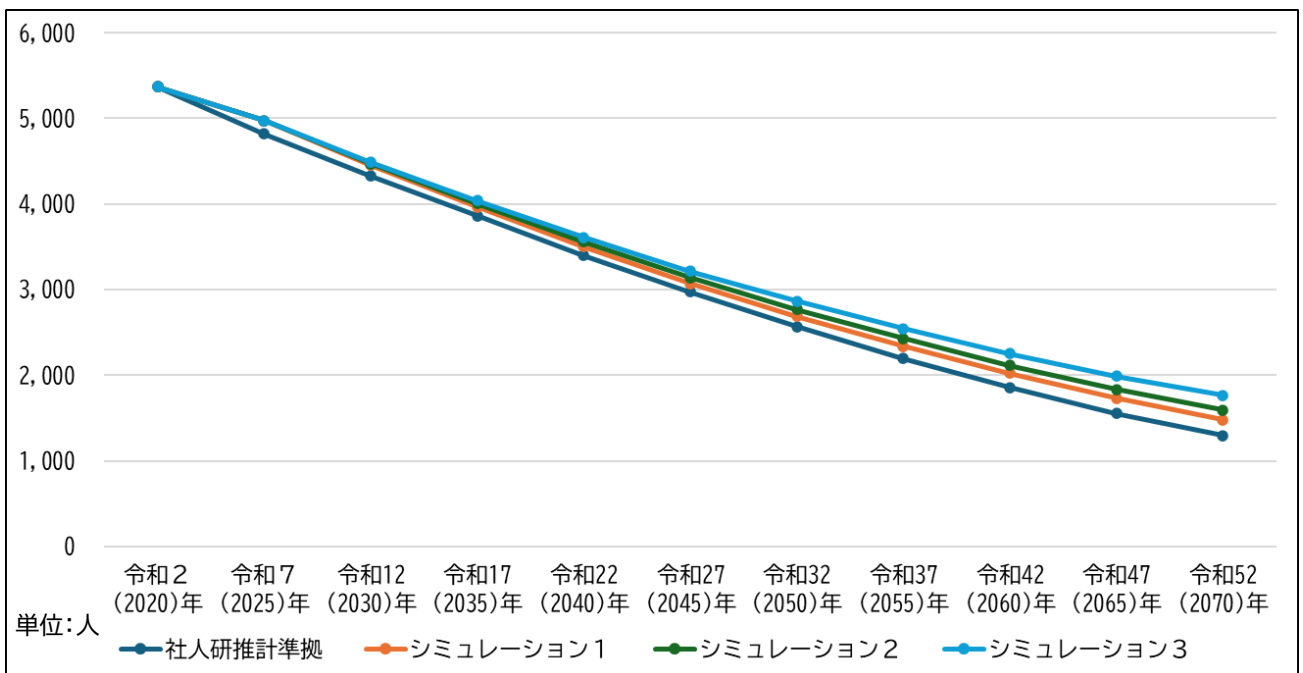


単位:人

	令和2 (2020)年	令和7 (2025)年	令和12 (2030)年	令和17 (2035)年	令和22 (2040)年	令和27 (2045)年	令和32 (2050)年	令和37 (2055)年	令和42 (2060)年	令和47 (2065)年	令和52 (2070)年
全人口	5,364	4,969	4,486	4,037	3,609	3,215	2,863	2,544	2,253	1,988	1,764
年少人口 (15歳未満)	500	394	312	270	237	212	194	177	163	150	145
生産年齢人口 (15~64歳)	2,771	2,545	2,213	1,856	1,538	1,308	1,126	1,011	914	849	800
老年人口 (65歳以上)	2,093	2,030	1,961	1,910	1,834	1,695	1,543	1,356	1,176	989	820

出典:「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート (令和6年6月版)」(令和6 (2024)年)を基に作成

3. 社人研推計準拠と独自シミュレーションの比較



出典:「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート (令和6年6月版)」(令和6 (2024)年)を基に作成

4. 人口の将来展望

(1) これまでの由良町の人口の推移

由良町の人口は、昭和 30 (1955) 年の 10,355 人をピークに減少が始まり、高度経済成長期の昭和 55 (1980) 年には一時的に 9,468 人まで回復しましたが、それ以降減少を続けており、令和 7 (2025) 年には 4,965 人となっています (3月 31 日時点)。

また、年齢 3 区分の人口構成比では、年少人口割合 (15 歳未満の構成比) が平成 29 (2017) 年以降 10%を下回っている一方、老年人口割合 (65 歳以上の構成比) は令和 4 (2022) 年以降 40%を上回って推移しており、少子高齢化が急激に進んでいます。

転入・転出、出生・死亡の推移を見ても、年によって変動はありますが、転出及び死亡の社会減・自然減が転入・出生の社会増・自然増を大きく上回っています。転出者では特に 20 歳代を中心とした若い世代が多く、こういった状況も上記の少子高齢化が進む大きな要因となっていると考えられます。

(2) 今後の由良町の人口の推移

由良町の人口推計 (社人研推計準拠) では、令和 42 (2060) 年に 2,000 人を下回る 1,859 人になると推計されています。また、年齢 3 区分ではいずれの年代も減少が続き、年少人口割合 (15 歳未満の構成比) は令和 42 (2060) 年の時点で 5%を下回り、老年人口割合 (65 歳以上の構成比) は令和 22 (2040) 年の時点で 50%を上回ると推計されています。このように、現在以上に少子高齢化が拡大することで、由良町の経済活動や社会活動に大きな影響を及ぼすと考えられます。

一方、3つの独自シミュレーションでは、合計特殊出生率の上昇や、特に若い世代を対象とした施策によって転出超過の減少をもたらすことで、人口減少・少子高齢化の傾向を緩やかにすることが可能であると示されています。

(3) 今後の由良町の取組

以上のように由良町では急激な人口減少や少子高齢化が進んでいますが、このような状況は由良町に限らず日本全体で発生している状況といえます。日本全体で人口が減少する中、近隣市町との人口の奪い合いではなく、町内の魅力や暮らしの豊かさを高め、住民が自らの手で活動を広げていけるような「持続可能な由良町」の実現に向けて取り組んでいくこととします。

由良町の「持続」を阻む要因として、現状、若者が進学・就職・子育てを機に町外へ転出する社会減が続いている状態があることから、「第 3 期由良町総合戦略 3. 目指すべき方向性」に基づき、「残りたい」、「戻りたい」、「育てたい」、「関わりたい」と感じるまちづくりを優先的に推進していくことで、若年層の 20 歳代を中心とした転出超過の減少と希望出生率 1.8 までの合計特殊出生率の向上を図ります。

これらの取組により、人口減少に歯止めをかけ、社人研推計準拠を上回る人口を目指します。

由良町人口ビジョン

令和7年12月

発行：由良町

〒649-1111

和歌山県日高郡由良町大字里 1220-1

TEL 0738-65-1801

FAX 0738-65-0282